

景観資源を活かしてつなげるまちづくり

『景観を通してみえてくるもの』

講師 高尾 忠志（九州大学大学院 特任助教）

豊かな自然景観や歴史的なまちなみなどの景観資源を効果的に保全し、まちの魅力をたかめるためにはどうしたらよいのか。今回は、モデル地区として日出町のまちあるきをしながら、景観資源の保全、活用について意見交換を行い、景観を活かしたまちづくりへの取り組みについて考えます。



◇日時：平成24年3月22日（木）10：00～16：30

（午前の部）10:00～12:00 まちあるき～日出町の景観資源を巡る
（9:50日出町中央公民館集合）

（午後の部）13:30～14:20 講演『景観を通してみえてくるもの』

講師：九州大学大学院特任助教 高尾忠志氏

14:20～15:00 日出町の景観資源調査報告、活用提案

講師：(社)大分県建築士会別府支部 浅野健治氏他

15:10～16:30 パネルディスカッション

テーマ：『景観資源を活かしてつなげるまちづくり』

コーディネーター：日本文理大学工学部准教授 近藤正一氏

パネリスト：九州大学大学院特任助教 高尾忠志氏

(社)大分県建築士会別府支部 浅野健治氏

豊の舟会長 佐藤済江氏

豊岡小学校おやじん会 梶原 新三氏

ディスカッションサポーター：日出町長 工藤義見氏

◇場所：日出町中央公民館（速見郡日出町1661）

◇参加要件：どなたでも無料で参加できます。裏面の参加申込書をご提出ください。

◇主催：大分県企画振興部 景観・まちづくり室 共催：社団法人大分県建築士会

◇問合わせ先：大分県企画振興部 景観・まちづくり室あて

TEL：097-506-2139 FAX：097-506-1730

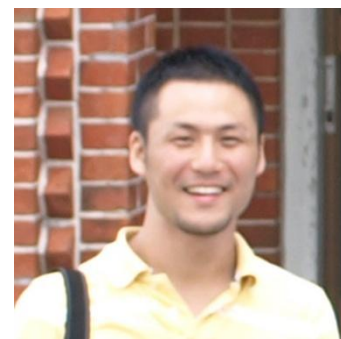
景観資源を活かしてつなげるまちづくり

『景観を通してみえてくるもの』

講師プロフィール

高尾 忠志(たかお ただし)

九州大学大学院 特任助教



ロンドン生まれ。千葉県育ち。

東京大学大学院景観研究室にて篠原修氏・内藤廣氏に師事。

2002年に(株)アトリエ74建築都市計画研究所に勤務。

各地の地域計画、事業マネジメント、交通社会実験に携わる。

2004年より現職。現在は、由布院、五島、佐賀において景観

計画の策定メンバーや景観アドバイザーとして関わっている。

官民協働の景観形成への支援により、「由布院・湯の坪街道 潤いのある町並みの再生」で

2010年土木学会デザイン賞奨励賞を受賞。景観保全を通してコミュニティの再構築を狙っ

た点が評価された。

著書に「景観用語事典増補改訂版」、「風景のとらえ方・つくり方 九州実践編」、「川の百科

事典」(いずれも共著)。

参加申込方法

どなたでも参加できますが事前申し込みが必要です。(参加費無料:午前・午後いずれか

のみの参加も可能) また、まちあるきに参加される方でお弁当が必要な方には、会場で

『ちりめん弁当(600円お茶付)』の予約販売をしますので、申込書にご記入ください。

参加希望者は、申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX・メールにてお申し込みください。

FAX:097-506-1730 E-mail:a10560@pref.oita.lg.jp

※お申し込みに関するお問い合わせ TEL:097-506-2139

参加申込書

氏名	年齢	職業	まちあるき 参加希望有無	お弁当(600円) 希望有無	連絡先(TEL, メールアドレス)
			有・無	有・無	

※FAXの場合はそのまま送信して下さい。(送り状不要)